



被爆 75 周年原水爆禁止世界 大会へのメッセージ

「被爆 75 周年原水爆禁止
世界大会」の開催に当たり、
御挨拶を申し上げます。

75 年前、広島と長崎に原子
爆弾が投下され、多くの尊い
命が犠牲となり、今もなお心
身に深い傷を負い、苦悩を抱
えている方々のお気持ちを考
えると、胸が張り裂ける思い

がいたします。

先の大戦により多くのかげがえのない命が失われた沖縄でも、被爆者の皆様と同様に戦争の不条理と残酷さを身をもって体験し、平和の尊さを肌身で感じております。

忌まわしい戦争の記憶を風化させない、再び同じ過ちを繰り返さない、そのため私たちは、平和を希求する「沖縄のこころ」を世界に発信し、共有することを呼びかけています。

沖縄県は、とこしえに平和を求めてやまない沖縄県民の心を内外に強く、広くアピールするため、平成 7 年に「非核・平和沖縄県宣言」を行いました。

私たちは、非核三原則を将来にわたって堅持し、平和の大切さを正しく次世代に伝えていくこと、そして、こうした取組による世論の広がりが、非核・平和を訴える大きな力につながるものと考えております。

結びに、核兵器の廃絶に向けた皆様の御尽力に対し深く敬意を表するとともに、この大会が契機となり、世界の人々が手を取り合い、核兵器のない平和で公正な世界の実現に向けた取組が大きく実を結んでいくことを祈念して、御挨拶とさせていただきます。

令和 2 年 7 月 14

沖縄県知事 玉城 デニー